

(別紙)

評価細目の第三者評価結果（高齢者施設）

※すべての評価細目（18項目）について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

IV 適切な処遇の確保 IV-1 各種サービスの提供

		第三者評価結果
IV-1-(1) 施設的环境		
IV-1-(1)-① 利用者が利用者どうし、または家族や地域の人たちと交流しやすい家庭的な生活空間づくりに配慮されている。		Ⓐ・b・c
コメント ・玄関付近に利用者夫婦がお世話をしている花壇があり、利用者が今までの生活環境を継続できるように配慮している。 ・1階フロアを、喫煙場所としており、利用者同士の憩いの場になっている。また評価訪問時、食後に食堂で利用者同士会話を楽しんでいた。 ・家庭的な雰囲気を出せるよう、職員は利用者に対して平等に声かけを重要視している。		
IV-1-(1)-② 換気、空調、音や光の強さ等が配慮されている。		Ⓐ・b・c
コメント ・清掃の時、空気の入替えをしたりと、定期的に換気を行っている。 ・テレビの音量に苦情があった場合、イヤホンをつける等職員から利用者へ促している。		
IV-1-(1)-③ 心身機能の低下を補うような施設の配慮等がされている。		Ⓐ・b・c
コメント ・一時的に機能が低下した場合や、福祉用具の貸与や購入まで時間がかかるまでの間等、車椅子、ポータブルトイレの貸し出しができるようにしている。 ・浴室で事故が発生しないように、注意が必要な利用者は入浴する前に職員へ声をかけてもらったり、入浴をしていない時間は鍵を閉めたりしている。		

IV-1-(2) 心身機能の維持・改善		
IV-1-(2)-① 心身機能の改善及び寝たきり防止のために、利用者の心身機能などの状況に応じた体操やレクリエーションを計画的に行っている。		Ⓐ・b・c
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・月・水・金の午前中に健康体操を行い、足の訓練を入れてほしい要望があり取り入れられている。 ・機能訓練のプログラムは、利用者の要望を取り入れ、ちぎり絵やカレンダー作り、歩行訓練を行っている。 		
IV-1-(3) 介護が必要になった時の対応		
IV-1-(3)-① 介護が必要となった場合に、本人の意向を踏まえた上で必要な手続きや利用についての援助が可能である。		Ⓐ・b・c
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護支援専門員が勤務しており、本人や家族の意向を踏まえて、介護保険認定申請の代行や更新についての援助が可能である。 		
IV-1-(4) 食事の提供		
IV-1-(4)-① 食事は、利用者の身体状況に合わせて提供している。		Ⓐ・b・c
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年1回、嗜好調査を実施。最近では、ラーメンの回数を増やしてほしいという要望に答えている。 ・糖尿病、腎臓病、高血圧の利用者には、カロリーを計算したり果物を缶詰に変更したりしている。また、刻み食を「ごく刻み」と「刻み」2種類で、利用者に応じて対応している。 ・栄養士が食事の様子を見たり、利用者の話を聞いたりし、栄養の摂取量や残食の把握を行っている。献立表は1週間ごとに作成し、掲示し、カロリーも記載している。 		
IV-1-(4)-② 食事を楽しめるような工夫を行っている。		Ⓐ・b・c
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回の入居者懇談会の際には、手作りのおやつを提供している。手作りのおやつを提供するようになってから、参加者も増えている。 ・毎月給食委員会を行い、定期的に話し合いを行っている。 		

IV-1-(5) 健康管理サービスの実施		
IV-1-(5)-① 日常の健康管理は適切である。		(a)・b・c
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特定施設入居者生活介護の利用者は、看護師が毎朝バイタルチェックを行い、値が高い利用者は再測定を行う。ケアハウスの利用者は、何かあれば看護師へ測定をお願いしたり、職員が見て調子が悪い場合はバイタルチェックを行う。また、健康診断を年1回実施している。 ・ケアハウスの利用者は、「利用者身体状況調書」を看護師が記入し、健康状態を把握している。 		
IV-1-(5)-② 服薬の管理は適正に実施している。		(a)・b・c
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誤薬マニュアルを整備し、万が一誤薬した場合には主治医へ報告する体制をとっている。 ・特定施設入居者生活介護の利用者の中で、現在18名の服薬管理を行っており、事務所で個人別のケースに保管をしている。 ・ケアハウスの利用者は、今飲んでいる薬の一覧表を保管している。 		
IV-1-(5)-③ 感染症予防対策を適切に行っている。(結核、インフルエンザ、疥癬等)		(a)・b・c
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染予防マニュアルを整備し、職員へ周知している。また、利用者へは帰苑時の手指消毒を呼びかけ、訪問調査時も利用者が消毒を行っていた。 		
IV-1-(5)-④ 食中毒予防対策を適切に行っている。		(a)・b・c
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食中毒マニュアルを整備し、厨房にも保管している。 ・調査従事者衛生管理点検表を基に、毎回食事を作る前にチェックしている。 		

IV-1-(6) 生活関連サービスの実施		
IV-1-(6)-① 利用者の生活を豊かで明るいものとするため、生活の質を高める取り組みを行っている。		Ⓐ・b・c
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週1回（ケアハウスの利用者が対象）、週2回（特定施設入居者生活介護の利用者が対象）、ショッピングへ出かけ外出する機会を設け、さらに年間行事でドライブに行く時には、行き先を2箇所準備し、利用者に選択できる楽しさを提供している。 		
IV-1-(6)-② 金銭管理が必要な場合はマニュアルに従って実施し、記録と報告を行っている。		Ⓐ・b・c
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・預かり金規定に従い、10名前後の金銭管理を行っている。通帳や現金等大事な物は、金庫に保管している。金庫の鍵は理事長・施設長が保管し、金銭管理は事務員だけで行えないよう内部牽制の仕組みがとれている。 ・金銭管理を行っている利用者の家族には、出納状況を書面で報告している。 		
IV-1-(7) 利用者家族との交流		
IV-1-(7)-① 利用者の健康状態や生活の様子について、必要に応じて家族（身元引受人を含む）に知らせている。		Ⓐ・b・c
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行事の様子をホームページに掲載し、家族がいつでも見れるようにしている。また、病院受診後、家族への連絡が必要な場合に、受診報告書を作成し説明している。 		
IV-1-(7)-② 施設と家族との交流を行っている。		a・Ⓑ・c
<p>コメント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族からの要望があれば、近況報告や外泊・外出・行事への参加を実施している。利用者への支援を充実させる為には、家族に施設や施設内での暮らしぶりが伝えられ、家族からも情報を得られるような仕組み作りが重要である。広報誌を今後発信していきたいとのことであるが、早期の実施が望まれる。 		

IV-2 権利擁護

		第三者評価結果
IV-2-(1) 成年後見制度等		
II-1-(1)-①	利用者の権利擁護のために成年後見制度や地域福祉権利擁護事業に関する情報を提供している。	Ⓐ・b・c
コメント ・現在利用している利用者はいないが、いつでも相談に対応できるようパンフレットを、準備している。また、利用希望者がいる場合は、施設長が対応する。		

IV-3 その他

		第三者評価結果
IV-3-(1) 安全・災害防止		
IV-3-(1)-①	防災（火災、風水害、地震等の災害）に関するマニュアルが整備されており、その対応方法について全職員に周知されている。	Ⓐ・b・c
コメント ・災害対策マニュアルを整備し、職員へ周知している。 ・年2回防災訓練を実施し、年1回は消防署立会いの下で行っている。また、この訓練には施設の設備を管理する業者も、一緒に訓練を行っている。		
IV-3-(1)-②	不審者の侵入時などに対応できるマニュアルが整備されており、その対応方法について全職員に周知されている。	Ⓐ・b・c
コメント ・来苑者対応マニュアルを整備し、不審者も含め来苑者への対応に役立てている。訪問調査時にも、来訪者が来ると玄関まで職員が出てきて声をかけていた。		